

# OTOWA カップ第 28 回関東女子ラグビー大会（高校生の部）競技規則

1. 開会式について、今大会は行いません。第 1 試合開始は厳守でお願いします。  
第 2 試合以降スケジュールどおりに進行しますが、随時試合の進行状況の確認をすること。
2. アップ場は資材置き場になっている為、使用禁止です。スパイクを履いたアップは、インゴール外側で実施、  
第 1 試合前 9 時 40 分から 20 分間のみ、全チームグラウンドでアップ可能ですが、必ずアップシューズで行う事。
3. 試合前のスタイルチェックは行いませんが、チームで責任を持ってチェックしておくこと。  
(爪、ピアス、ヘアピン、ネックレス、指輪、スパイクのポイント)  
試合時に違反が確認された選手に関しては、退出し、外したことをレフリーが確認後、出場することができる。  
プレーする際に、ジャージをパンツの外に出したり、ストッキングを下げて着用することは禁止する。
4. 競技規則は、World Rugby の『2017 年度 7 人制競技規則』による。  
ただし、19 歳未満の選手には、安全確保のため平成 28 年改訂(公財)日本ラグビーフットボール協会版競技規則  
(タグラグビー、U-12 ミニラグビー、U-15 ジュニアラグビー、19 歳未満 国内高専・高校以下用)  
第五部 19 歳未満 国内高専・高校以下用 競技規則 を適用する。  
また 19 歳以上もマウスガード・ヘッドギアの着用が望ましい。  
第 4 条 プレーヤーの服装 4.1 追加着用を認めるもの(義務)  
WR が追加着用を認めるものの内、以下のものは装着・着用を義務とする。  
(f)マウスガード、歯を保護するもの  
(g)WR 競技に関する規定第 12 条に適合する IRB(現 WR)マークがついたヘッドギア
5. 試合方法： 大会使用球…ギルバート  
8 チームによるトーナメント方法。
  - ・ 試合時間・試合時間及びハーフタイムは、前半 7 分-ハーフタイム 2 分-後半 7 分とする。
  - ・ 前後半終了時点で引き分けの場合は、キャプテンによるコイントスで勝利チームを決定する。
  - ・ 選手とジャージの背番号が必ず一致したメンバー表を提出する事。
  - ・ 当日の試合ごとの登録選手は 12 名までとし、競技区域内にいるプレーヤーの人数は 7 名を超えてはならない。
  - ・ 対戦する両チームのジャージ、柄が似ている場合、コイントスに勝利したチームが着用ジャージの選択権を得る。
6. 試合出場選手背番号について  
大会出場選手の背番号については、No. 1~No. 12 とする。その他の背番号は認めない。  
※例外) 怪我等で血がついたジャージの場合は上記番号以外を認めるが、大会本部まで必ず報告をする事。
7. コイントス  
大会本部前にて試合担当レフリーにより実施する。第 1 試合については試合時間の 20 分前、以降は、前の試合の  
ハーフタイムに実施する。その時間に一方のチームしかいなかった場合は、そのチームに選択権を与える。  
また両チームが来なかった場合は、レフリーが決定する。
8. メンバー表の提出  
第一試合のチームは試合開始 20 分前までに各グラウンドの大会本部に提出すること。  
第二試合以降の参加チームは試合を行う前の試合のハーフタイムまでに各グラウンドの大会本部に提出すること。
9. 選手の入替・交替  
選手の入替、及び交代の際は大会本部にて準備する「選手入替・交替申請用紙」を使用し、マッチオフィシャルへ  
提出すること。リザーブ選手は、1 チームあたり 5 名以内とし、その 5 名まで入替、あるいは交替することができる。  
入れ替ったプレーヤーは、たとえ負傷したプレーヤーの交替としても、その 試合に再び加わることはできない。  
※例外) 入れ替ったプレーヤーは、傷口が開いたり出血しているプレーヤーと交替してもよい。
10. シンビン・ブラッドビン
  - ・ シンビン : イエローカードを提示された際の一時的退出時間は 2 分間(オンプレータイムで計測)。  
また、1 試合の中で、同一競技者が 2 回の警告が与えられた場合は、退場処分とする。  
大会期間中でのイエローカード累積 5 枚に達したものは、1 試合中に 2 枚イエローカード  
をもらわない限り、継続してその試合には出場できるが、次の 1 試合には出場できない。  
レッドカードを提示された際は、即退場処分とし、次の 1 試合には出場できない。

・ブラッドピン：出血処置による一時的交替は15分以内。(15人制同様ルール/ランニングタイムで計測)  
 ※止血処置はマッチドクターが対応、再出場の判断はアシスタントレフリーの確認を必要とする。  
 ※マッチドクターは、レフリー、及びアシスタントレフリー要請に応じて処置をし、その際は出場可否の判断をする。

- 1 1. 今大会、マッチドクターが待機、本部にてメディカルバック・氷・水は用意していますが、各チームでメディカルバックを用意、怪我予防は各選手が行う。  
 また各チーム、グラウンドに入れるメディカルは1名、ウォーターは2名とし、協会が用意するビブスを着用する事。  
 ※メディカル用品、氷は、各チームで用意すること。  
 ※コーチ、リザーブの選手は、ARの邪魔にならないスペースで待機すること。
- 1 2. 第1試合のボールパーソン、ARは本部で対応しますが、2試合目以降は、お手伝いをお願いします。  
 自分達の試合終了後、次試合について、両チームの選手2名ずつボールパーソン、スタッフ1名ずつARとしてお願いします。試合球・ビブス・タッチフラッグは大会本部にあります。お手伝いをするスタッフ・選手一緒に、試合終了後、大会本部まできてください。
- 1 3. 着替えはAグラウンドが工事中の為、B・Cグラウンドの間にある簡易更衣室となります。  
 ※当日は寒さが予想されますので、防寒具の用意をすること。
- 1 4. 車の場合、熊谷ラグビー場専用の駐車場P3、P4を、大型バスは、西第2多目的広場をご利用ください。  
 アップ場(現資材置き場)近くの駐車場は大会役員用のため、利用を禁止とする。全て無料となります。
- 1 5. 帰る前に、チーム席のゴミ、忘れ物の確認し、ゴミは各自持ち帰る事。

熊谷ラグビー場全体図

